



東北大学グローバルCOE

第1回

Network Medicine特論

講義のお知らせ

辻 一郎 博士

(医学系研究科 公衆衛生学分野・教授)

個別化医療・個別化予防へのロードマップ

日時: 4月20日(金)17時30分
場所: 医学部5号館201号室

一人ひとりの遺伝情報(ゲノムなど)・環境情報(生活習慣など)・臨床情報などに基づいて、個々人の特性にあった医療を提供し、疾病リスクの予測に立った予防法を実践することこそ、次世代型の保健医療システムが目指すところである。それを果たすには大規模なゲノムコホート研究によるエビデンス形成が必要であり、東北メディカルメガバンクもその1つとして期待されている。

本講では、遺伝要因と環境要因が疾患リスクにどのように関わっているかをレビューしたうえで、国内外のゲノムコホートの現状と課題について概括する。

さらに、東北メディカルメガバンクとは何か、何をめざしているか、個別化医療・個別化予防の実現にどう貢献できるのか、そして被災者支援と最先端研究はどうすれば両立し得るのかを議論したい。

Network Medicine特論では、最新のNetwork Medicine研究を紹介しています。最新の医学研究を理解するために必要な知識を多くの学生・教員間で共有したいと思います。

Network Medicine特論は医学履修課程の大学院講義です。受講学生は履修簿を持参し、修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。皆さん是非ご参加ください。

拠点リーダー 岡 芳知 / 担当 中山 啓子(内線8227)